



**HSK**  
はづき  
**葉月号**  
NO.153 2013.8.10号  
**Advocate**

1973年1月13日第三種郵便認可 HSK通巻番号497号  
発行/2013年8月10日(毎月10日発行)  
編集者/我妻 武  
住所/〒063-0812  
札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F  
特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ  
TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323  
H P <http://npolife.net/>  
発行/北海道障害者団体定期刊行物協会  
定価/100円



除草作業

石狩市花畔で借りた一町(100m×100m)の畑。北海道で農業をするには一町は決して広くはないし、大したことはないかと思われかもしれませんが、我々素人が他の事業と二足のワラジを履きながら、勤務時間も限られているサラリーマン農業で、かつ少ない人数体制で札幌からの通いで行うにはとても広い土地です。

最初は休憩所もトイレも無いところからのスタートでした。まずはスコップと鍬で土を掘り起こして細かく碎き、平らにならして種を蒔きました。種を蒔くと簡単に言っても、何万粒もある1ミリの種を1センチ間隔に手で蒔くという、傍から見たら「あいつらは何をやっているんだ?」ということは何日も何日も続けて、ようやく蒔き終えたニラとネギの播種。

「今日は結構進んだね!」とふと頭を上げると、全体のほんのほんのごく一部でしか作業をしていないことに気づき、はたしてこの土地を使いこなすことができるのだろうか?というのが、共通の感想でした。

目標は収穫とか美味しい野菜を作るよりも、まずはできうる限り土地を余さないで種を蒔くことでした。「目標低っ!」と笑われましたが、まずは種を蒔かないことには何も始まりません。

ようやく種蒔き手押し機械ごんべい君を手に入れてゴボウの種を蒔いた時は感動すらおぼえました。「世の中にはなんて便利な道具があるんだ!」と。そして、耕運機。一町は3馬力の小型耕運機でやるには広いのですが、それでもスコップで掘り起こすことに比べたらとっても楽なものです! そこで

## NPOライフ 農業報告

### ～ 過程 ～

上神田 一朗

少し希望の光が差し込みました。

しかし、喜びも束の間、ようやくゴボウの種を蒔き終わり、畑全体の半分をやっと蒔き終えたころには、最初に手で蒔いたネギとニラが見事な雑草畑に…。みんな次世代に繋がるために生きているのですし、古くからそこで生きてきた生き物にとっては我々のほうがよそ者なのですから当然です。

今度は種蒔きを中断して除草作業。まだ2ミリ程にしかな成長していないネギを抜かないように雑草だけを取るというのは、これまた大変な作業で、またまた広い土地の片隅で、周りから見れば「あいつらは何をやっているんだ?」という作業をようやく終えたと思ったら、今度は雨不足と強風で全然発芽しないという、一難去ってまた一難です…。

しかし、「収穫」という先の結果よりも、日々の過程で、炎天下の中、汗まみれ、強風で土埃まみれになりながらも懸命に働いているみんなの姿や、今までに見たことがないような変化、満面の笑顔があるからこそ明日に繋がるんだと思うし、それこそが何よりの収穫なのだと思います。

この思いが伝播してみんなで毎日を乗り切って、本当の収穫の喜びも共有できたらいいと思います。

そして、我々が畑に行けるように影でサポートしてくれているみんなも本当にありがとうございます。そんな「わ」がもっと拡がり展開していけばなあと思います。



3馬力の小型耕運機



# ともども 夏まつり

in 札幌市リユースプラザ

たら次は太鼓です！高校生から小学生くらいの子も達が叩く迫力の太鼓の音に皆目を丸くして一生懸命見えています。その時は食事の手も止まってしまいます。

## ○ 笑顔あふれるリユースの祭り

こころや 小黒 悠佑

今年も、ともども夏祭りが厚別のリユースプラザで7月20日に開催されました。ライブからは私を含めて3事業所から6人参加しました。当日は大変天候に恵まれ、少し動いただけで汗が出る様な暑さの中のイベントでした。

ライブは、ジュース販売と、はばたきさんとの共同でうどんを担当しました。温かいうどんは、暑さに負けてしまいそうな心に、熱い潤いを与えてくれますと思いきや、やはりこう暑くてはアイスクリームの方がよく売れました(笑)

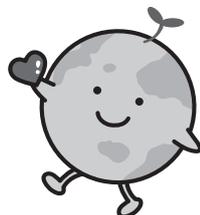
カレーライスとうどんの熱風がテントの中に溜まり一人、又一人と戦線離脱(笑)。私は最後まで牙城を守ろうと必死でした。

昼からはいよいよ、皆のアイドルちつきゅんの登場です！今回のちつきゅんは背の高さとも、動き方も大変可愛らしく、子供たちの注目の的でした。しかし、大変！ちつきゅんは自分で見て動くことが出来ません。誰かが誘導しなくては！そこで私がちつきゅんの誘導係をやることになりました。と、いうわけでうどんの牙城は若いスタッフに譲りました。

リユースはちつきゅんが現われた途端に一変します。まるでディズニーランドと間違えてしまうくらい一気に子ども達が押し寄せます。そして大人も一緒に笑顔になる、そんな時間が訪れます。

ちつきゅんは地球の化身、その偉大さに改めて気づかされました。

さあ、ちつきゅんタイムが終っ



美味しい食を味わい、可愛い妖精とたわむれ、太鼓の音を聞く。五感に訴える催し。リユースプラザの中では、各事業所の商品が並び、西田お兄さんの手作り教室も人気の呼び物です。

ともども夏祭りをリユースで開催することになって3年ほどになりますでしょうか。地域に根付き皆が笑顔になるお祭りがこれからも続いていくことを願います。

そして、自分もその笑顔をつくる側として頑張っていきたいと思います。

皆さん、お疲れさまでした！これから迎える夏本番を元気に乗り切りましょう！

## ○ ともども夏まつりのおもしろかったこと

こころや 川村 良一

リユースプラザでカレーライスとアイスクリームをかってたべた。

リユースプラザでカレーライスをうりはじめたはじめて。



## ○ ともども夏まつりのおもしろかったこと

こころや 西野 悠斗

今月の20日ごろリユースプラザのともどものなつまつりがありました。

一番おいしかったことや台は、うどんとカレーライスとソフトクリームでした。一番おもしろかったないようはたいこを見て大きな音でした。





NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ

**こころや**〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5  
マンションMOMO102TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323  
kokoroya@npolife.netお米精米・販売  
チラシ折り  
封筒詰め作業  
箱折り  
シール貼り  
清掃委託業務

## 新メンバーと最近のこころや

富橋 祐太

6月後半より、新たに北澤庄麗きたざわしょうれいさんが加入しました。私がライフに入ってから初めてのメンバー加入ということでとても嬉しく思います。仕事に慣れるのも早く、既存メンバーともすぐに打ち解けています。私がライフに入った時にいろいろな面できちなく、何をしたいのかわからなかったことを思い出すと、とても頼もしく思いました。

最近よく、こころやの仕事のスピードが上がっていると感ずることがあります。沢山の軽作業をいただき日程通り終わらせるのが難しいと思う時も、しっかり納品日を意識して「今日はここまでは終わらせよう」などと毎日目標を持って取り組んでいると思います。忙しい時ほどスムーズに作業が進むようにみんなと段取りを考えて、こころや一同これからもレベルアップしていきたいと思ひます。

## またボーリングに出てたいこと



川村 良一

オレは、6月29日(土)にボーリングをやって最後にストライクが出たうれしかった。

また出てたい。ボーリングに行ってきたのしかった。

## まちかど荘について

まちかど荘に入って1年半になります。

今年に4月ごろ、まちかど荘の1周年パーティーして3カ月になります。

6月ごろ川村さんのたん生会をしました。あとたん生会のりょうりとケーキを食べました。



西野 悠斗

## ボーリング大会

石井 美之

今年は雪どけがおそくさむい年でした。

4月～5月は自分の所の仕事もとくべつ寒い気がしたくらいでした。

その気こうも6月にはやわらぎ6月末には全国ボーリング大会を琴似のサンコーボールで行うことができました。

とはいってもまだ2回めでいつものメンバーでたのしんで食事会もやったところです。

さて、かんじんのせいせいきは、いつものメンバーは、みんなそこそこの成せきだったようですが、私はゆうしょうこうほとゆわれたのにサンザンなデキでみんなにインタイするようイワれてしまいました。まことに申しわけなくおもいます。

こんどはこっそり練習してみんなにおどろかれるようにしたいと思ひます。



## 新人紹介

北澤 庄麗

初めまして。ライフのこころやに、お世話になっている、北澤と申します。

今年は札幌は大雪から、始まり、今は気温の変動になり、蝦夷梅雨が降りそうです。

札幌だけではなく、北海全域の老若の方々、大変ですが、北海道の開拓魂を受け継いでいらしゃるので、けっぱれ、がんば、の、言葉を掛け合い皆さんががんばりましょう。私自身も頑張ります。最後に私の好きな言葉を入れて、締めくくらせて、いただきます。朝は希望に起き、昼間は努力に生き、夜は感謝にて眠る。

もう一言、こうゆう世の中、日本じゃなく、世界の全ての人々が夢や希望をもち、生きているんだと、思っているだと、想いたいと、思ひます。



**札幌市リユースプラザ**〒004-0003 札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10  
TEL 011-375-1133 FAX 011-375-1155**札幌市リサイクルプラザ 発寒工房**〒063-0835 札幌市西区発寒 15 条 14 丁目 2-30  
TEL 011-662-7815 FAX 011-662-7816<http://www.reuseplaza.jp/>**★ 新発寒小学校のみなさんが見学に来ました ★**

7月9日(火)に新発寒小学校の4年生66名が社会科見学で発寒工房にきてくれました。

社会科見学の流れとしては、発寒工房の裏にある西清掃工場を見学→発寒工房を見学という流れです。子供たちはこの2か所の見学で、ゴミがどこから来てどのように処理されていくのか、またはリサイクルされていくのかを学びます。

発寒工房では笠井館長のとってもわかりやすいリサイクル講座を受けてから工房内を見学してもら

リサイクルプラザ発寒工房 坂本 倫子  
う流れになっています。

発寒工房の事務所内には完成した家具やソファが何点もおいてあるのですが、子供達からは「この机ほしーい!」とか「私のダンスと似てるー!」とか「この机5,000円なら、小遣いで買おうかな!」などなど色々な感想が飛び出します。

子供達の中に、先月の自転車抽選で当選したという男の子がいました。自転車修理をしているところを実際に見学し、今自分が乗っている自転車がどのようにして自分の手元に来たのかを知り、とても喜んでいました。「自転車大切にすね!」という言葉にとっても嬉しくなった私なのでした♪

今回の社会科見学を通して、物を大切にすることとあらためて感じてくれたら嬉しいと思います。

**★ 自転車抽選会報告 ★**

リユースプラザ 小野 克代

リユースプラザでは毎月第二・第四土曜日に自転車の公開抽選会を行っています。

7月第1回目の自転車抽選会は7月13日(土)で、10台の自転車に60名の方が応募されました。

11時からの抽選会の見学者は小さな男の子2名とおじさまが1名。

1番の自転車から順に抽選して当選番号を読み上げるのですが、1番の当選者はなんと見学されていたおじさまでした。ちなみにおじさまは前回も投票され、ご自身で抽選して外れてしまったため、今回は我々に一任された結果、みごとに当選しました。目の前で喜んでいただけると抽選する側も嬉しくなりますし、すごく喜んでくれて一気に場が盛り上がりました。

おじさまのご家族が他の自転車に投票している

とのことで、最後まで抽選会を見ていってくれました。私は、何とかご家族も当選してほしいと思うプレッシャーに負け、西田さんに抽選をお願いすることにしました。すると、なんと西田さんは初めての抽選役だったことが判明し、ビギナーズラックに賭けることにしました。しかし、ご家族の方は残念な結果に終わってしまいました。

自転車ご希望の方はぜひリユースプラザに投票に来てください。当選するよう私たちも一生懸命抽選券を引きます。



自転車抽選で感動するを分かち合う3人!

## 「浴衣でともども夏まつり」～リユース(繰り返し使う)浴衣!

リユースプラザ館長 松永 クニ子



去る7月20日(土)、ともども夏まつりが開催されました。

今回も、もじや西田彩さんデザインの可愛いチラシを3,000枚配布しました。実はこのチラシには書いていないのですが、今回のイベントは「浴衣のリユース」に挑戦しています。

リユースイベントに協力してくれている(一社)札幌消費者協会環境研究会のメンバーの方々と衣類のリサイクルについて話す機会がありました。

リユースプラザへ古着・古布を持ち込む方々から「工業用ぞうきん」ではなく、着る目的で浴衣をリユースして欲しい。タンスの肥しの着物を活用して欲しい。」という要望が多く、何か出来ないだろうか? と着物を活かす挑戦を考えました。

まずは「着付けが簡単」な浴衣に着目して、ともどもネットのメンバーの方を募っての初挑戦、「浴衣のリユース大作戦」です。

今回の浴衣は、札幌消費者協会の会員の方々から



浴衣姿に魅了され賑わっています!

集められたもので女性用10着、男性用3着の準備ができました。

申込みの第1号はあしの会の男女

浴衣でゴキゲン、笑顔でアピール! 販売にも力が入ります!



各1名～その後ドンドン増えて行きました。

当日は事前にタンクトップ・短パンで準備した方々に、環境研究会の会員4名が着付けをしました。

「浴衣を着てともども夏まつりを楽しむ!」は写真の笑顔を見て頂けると結果がお分かりですね!



わあ～!お殿さま気分だあ～!!

今後の目標は日本文化の伝承も兼ねて、メンバーの皆さん、留学生の方々、被災者の方、着物を持っていない方に札幌市民からリユース着物を寄付して頂き、「お茶会」が出来たらいいな!と夢がふくらんでいます。リユース(繰り返し使う)着物で、みんなが笑顔!(一社)札幌消費者協会環境研究会の皆さんのご協力で大成功でした!



### ★ 新しい家のこと ★

リユースプラザ 澤田 茂則

築40年の家を建て替え中です。アチコチ傾き、冬になると一緒に住む母の部屋は冷蔵庫のように冷えて戸を開けると冷気を放出。

そんな部屋に母を居させるのはどうかと、母と二人で色々悩みながら新築に決定しました。

古い家具を処分したので、仕事を活かしてリユース家具を入れようかと物色したのですが、これがなかなか難しく…。来館されてリユース家具を何度も見たり、サイズを測って確認する人たちの気持ちが分かりました。

気持ちよく生活するためには、家具も大事アイテムだと実感しました。

6月から姉の家に母と二人で居候しながら、完成を心待ちにしていたのですが、8月上旬には引越します。



リユース職員の影の声:家具やガラスを磨くのが大スキ澤田さん～きっと家も念入りに磨くことでしょう～。さあ!新築祝いにジンギスカン持って行き、新しい澤田家で焼き肉パーティだ!!

アウトソーシングセンター  
元気ジョブ

札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74  
市民活動プラザ星園 103  
TEL 011-596-6581  
FAX 011-596-6582  
E-mail: genki@hatarakutei.jp



## 祭でのバザー

中山 庸子

今年もバザーの季節が来ました。それぞれの作業所の所在している地域と連携してバザーに参加する所、所在地と違うが作業所の名前を知ってもらおうと色々な地域で参加をする所、方法は違えども授産品の拡販と作業所の知名度向上に向け作業所、職員、メンバーさんが一丸となり、度重なるお祭に対応している姿はすばらしいと思います。

メンバーさんも外での販売を行うことによって、知らない人とのコミュニケーションをとる方法を少しずつ習得できているように思います。

私が絡んでいる札幌コンベンションセンターでの被災者支援のための“元気サマーフェスタ”ですが、昨年から参加させていただき、札幌コンベンションセンターさんのご協力のもと各障害者作業所の授産品が高い評価を受け、今年は昨年の1.5倍の会場で行う予定となりました。作業所代表でイクシア札幌のトーンチャイム演奏もあります。

コンベンションセンターのホールでの演奏をメンバーさんは大変気に入って、今年も演奏してもらえようとなりました。トーンチャイムの音を聞くだけでも感動すると思いますが、イクシア札幌はメンバーさんが自分の音を受け持ち、曲の流れを理解して奏でることが出来ていて、音楽を皆で協力して演奏することに感心します。先日はエルプラザで演奏してもらいましたが、聴いている方々の中には感動の涙を浮かべている人もいました。



昨年の札幌コンベンションセンター元気フェスタは町内会の支援を受けられる余裕は日程的に難しかったのですが、今年は町内会盆踊り大会を同日開催し大ホールと屋外をつなげて一体感のあるイベントに持って行こうとしています。

また自衛隊中央本部さんのご協力を頂き、東日本

大震災の復興状況などをパネルで展示するとともに、陸・海・空の子供用制服の貸出（記念写真を各自撮影できる）という協力によって、集客力が昨年の2倍にアップするのではないかと8月10日を楽しみにしています。

“元気サマーフェスタ”が終わると1か月後の9月8日に“ミニ大通りお散歩まつり”が有ります。ミニ大通りお散歩まつりは今年で3回目の参加になります。去年はどしゃ降りの雨で大変な1日でしたので、今年は晴天になるようテルテル坊主に願っています。

私は参加するだけではなく、各作業所が協力してお祭を盛り上げてもらっています。そのことが長続きする為に必要だと考えるからです。同じことをやるよりも前回と違うことを考え、展示の仕方ひとつでもいいから、昨年とは違うやり方を工夫することによってお客様も飽きずに同じブースに見学に来てくれると思います。それが販売金額のアップに繋がると思います。一生懸命に作った作品が認められ、購入してもらい、メンバーさんの作業工賃に還元できることを願っています。

ミニ大通りお散歩まつりで今年は極楽湯会場の極楽湯さんの了解のもと、周りの樹木に作業所がそれぞれ飾り付けをしてもらいたいと思います。

作業所の作品でも、ちらしPRでもそれぞれの工夫で飾り付けをして、それぞれの作業所の良さ、特徴をもっともっとアピールしていけたらと思います。

昨年からふじの作業所で作ったベンチを、お休み処として置くようになりました。座り心地も良くお客さんには好評でした。今年はそこで大人も子供も楽しめる読み聞かせをRe~らぶさんにやってもらいます。また北の青空さんは手話通訳をします。作業所のメンバーさんだけでなく、お客さんにも喜んで頂けるように、皆で出来ることを協力するようになっていきます。

参加する各作業所、それぞれのイベントが賑わいますように…



♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

♪ NPO法人 札幌・障害者活動支援センターライフ ・出張販売

♪ **共働サービス たねや** ・配送業務

♪ 〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 ・チラシ折り

♪ テラ二十四軒1階 ・封筒詰め作業

♪ TEL 011-613-0611 FAX 011-644-0088 ・箱折り・シール貼り

♪ taneya@npolife.net ・清掃委託業務

♪ ・その他委託業務

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

『 真夏がやってまいりました 』

奥井 忠宏

暑い日が続いておりますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。メンバーのみんなは暑い日も朝礼のときだけぐったりしてはいますが、気力を振り絞って働いてくれています。私もそんなみんなに元気を分けてもらいながら、夏バテと戦っています。

おかげ様で、毎年この時期は繁忙期なので、ポストティングに軽作業にバザーや学校祭と盛りだくさん

です。ありがとうございます！

さらに、毎度おなじみになってきました「お買い物deまちづくり」ですが、7月は4日間の開催ができました。売上は微妙でしたが、「継続は力なり」なので今後も頑張っていきます！

8月も21日と27日、9月10月と続いて開催しますので、応援とお立ち寄りをよろしく願いいたします！！

たねやイチオシ 今月のオススメ商品&レシピ!!!

添加物・保存料不使用!!

東北の事業所「わ・は・わ美里」さんのジャム!



- pearjam .....1コ 150g 400円  
添加物・保存料は一切使用してません!  
ジュシーで口どけのよい新鮮な天童産ラ・フランスがごろっと入ったジャム。上品な甘さと風味、舌触りはまさに西洋ナシの最高峰です。(糖度45度)
- blueberryjam ..... 1コ 150g 500円  
添加物・保存料は一切使用してません!  
宮城の「環境にやさしい農産物」の認証を受けた、鳴子の最高の環境で栽培された究極のブルーベリーをふんだんに使用しています。(糖度45度)

ラ・フランスジャムを使った  
パウンドケーキの作り方(2人分)

- 材料 ラ・フランスジャム.....50g  
ホットケーキミックス... 100g  
卵..... 1個  
牛乳..... 50ml  
砂糖..... 大さじ1杯  
サラダ油..... 小さじ1杯

- ① 材料を全て混ぜて型に流す
- ② オーブンで焼く！(180℃で20～25分)

ブルーベリージャムを使った  
レアチーズケーキの作り方(2人分)

- 材料 ブルーベリージャム...50g ゼラチン..... 5g  
クリームチーズ..... 100g お湯..... 50ml  
生クリーム..... 100ml ビスケット...60g  
ヨーグルト..... 50g バター.....40g

- ① ビスケットを砕いたものをバターと混ぜ、型に敷き詰める
- ② お湯にゼラチンを溶かす
- ③ 全ての材料を混ぜ、型に流して冷蔵庫で冷やす!

『 病気と出張販売 』

蜂谷 和輝

ぼくは、病気があってあまり出張販売先には、仕事は、行けないけれど中の軽作業で、がんばっています。

できるだけ出張販売にぼくは行きたいです。だけど、物にぶつかったりせまい場所で人にぶつかることがあるので、できるだけ自分が行ける出張販売先を選んで手をあげています。だからもっと出張販売先をふやしてほしいです。

『 仲間が増えました! 』

石田 程哉

メンバーぼしゅうしたら数人がたねやの仲間になってくれました!

これから真夏に入るんで、体をこわさないようがんばりたいです!



就労継続支援事業A型  
共働事業所

・印刷物版下制作・製本  
・紙焼き写真のデジタル化  
・農業・喫茶・ポストイング  
・DM発送・その他の軽作業

# きばりや

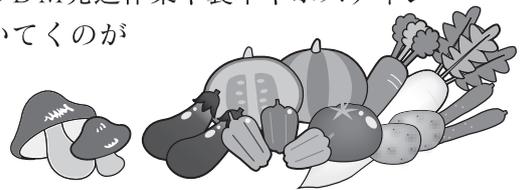


## 久しぶりのきばりやは…

為井 まどか

皆さん、お久しぶりです。忘れていた方もいるかもしれませんが、きばりやの為井です。産休&育休明けで約9か月ぶりに戻ってきてみると、な、な、なんと！！ 何だかバタバタと忙しい感じでした。原木シイタケの栽培に農業。それに加えて、今まで通りのDM発送作業や製本やポストイングまで。目の回るような仕事の量に、久しぶりに復帰した私にはついてくのがやっとな、今にも逃げ出したい気分になりました。

が！そんなことは言ってもらえないので、体力の無さを実感しつつも、足手まといにならないように、できるだけ精一杯頑張ろうと思います。



## ☕ 元気で働いています

カフェ 山本 滋基

カフェが始まって、もう7年目になりました。最近では、コーヒーを入れるのをたまにします。1階営業の時は、2時間で交代に行きます。交代する時は、忘れ物がないかどうか確認したいです。

暑い日は、冷たい飲み物が売れます。

## 🌱 石狩の畑作業



南條 恭彦

今年も、もう8月を迎えますが、連日の暑さに私も少し夏バテになりそうな、そんな毎日を送っています。

きばりやでは今年から石狩で畑作業の事業が行われています。農作業の指導者として、岡田さんという女性の方が加わり、基本から丁寧に指導を受けています。

私も含めてきばりやの障害者スタッフ全員が、農作業の仕事に従事しています。それぞれ作業分担があって、私も他の障害者スタッフも一生懸命、自分たちの作業を責任を持って頑張っているの、何とかですが順調に個々の農業スキルが向上してきていると、私自身そういう感想をもっています。

そして作物の出来上がった時の喜びが味わえるよう、毎日努力を重ねていきたいと思っています。

## 🌱 農業

濱中 孝仁



みんなでのうぎように、いろいろなにんじんやニラ、トマトにダリヤの花が、のうぎようにみんなで作ったものをつちにうえて、たねにのびたです。

たくさんにやさいのものがだいこんやいも、大きなすこかったです。

## ～cafe de きばりやより～ 今月のおすすめ

冷たい飲み物が沢山出る季節となりました。暑い日には、アイスクリーム(250～280円)もおススメですが、今月のイチオシは

### スーププレート ¥370

当店のスープは、とにかく野菜がたっぷり。ビタミン・ミネラルをたくさん食べて夏バテ知らずに！！





**コン・ブリオ ひだまり**  
 札幌市西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1階  
**TEL 615-4131 FAX 615-4132**  
 E-mail : konburio@npolife.net  
 営業時間：月～木10:30～18:00 金10:30～21:00 土10:30～15:00  
 休業日：日曜、祝日、年末年始

**入社一年が経ちました！**

佐藤 加奈子

ライフに入社して2年目を迎えました。入った頃は右も左もわからず、料理に関する以外、見る事全てが経験したことのないことばかりだったので、すごく新鮮で新しいことを経験していくという部分ではやりがいを感じていました。ただ今まで培った料理に関しての知識を何とか生かしてライフの役に立てたら…という気持ちだけで立っていた気がします。

その気持ちは今も変わらないですが、もともとマイペースで決断力があまりない性格なので、いつも周囲の方々に相談してばかりで甘えっぱなしの日々だったと反省しています。

2年目もいい意味で“マイペースを保ちながら”、現状に満足することなく日々進化していく『コン・ブリオひだまり』をみんなで作っていきたいと思っています。



**今月は北海道民ならば馴染みの深いメロンについて…♪**

**<おいしいメロンの見分け方>**

網ありメロンの場合は、丸みがキレイで網目がクッキリと細かく均等に広がり、網1本1本の盛り上がりが高いほうが良品とされます。

果皮の色は、網あり網なしともに色付きが均一なものを選ぶとよいそうです。

また、どちらも軽いものよりも重みのあるほうが種の比率が低く、肉厚で味も優れています。

**<メロンの保存方法>**

完熟していないメロンは追熟させる必要があるため、常温で保存して食べる2～3時間前に冷蔵庫で冷やしましょう。

一般的に食べ頃になると香りが強くなり、お尻の部分に弾力を感じます。カットしたものは種を取ってからラップで包んで冷蔵庫へ。ただし冷やしすぎると味が落ちるので要注意！



**ひだまりメニュー**



ついにひだまりでソフトクリームを始めました！  
 お味はバニラ・チョコ・ストロベリー・抹茶・ソーダ・マンゴーの6種類！  
**各種 ¥200**  
 みなさまのご来店お待ちしております♪



**床頭台について**

藤井 孝雄

床頭台の順番としてはカセットがゼロになっているかどうか、冷蔵庫の表示がゼロになっているかをチェックをしました。

9階は行けないのでひとりで行くこともあります。ICUにたまに行くこともあります。

冷蔵庫の所を拭いて、からぶきをして終わりというわけではありません。ストッパーが完璧に止めているかどうか確認をして全てが終わりということになります。

**ガーターなしのボーリング大会**

熊谷 新

2回目のボーリング大会は、ガーターなしでした。1回目のスコアは低かったですが、2回目は202点でした。ストライクを取った時は最高に気持ちが良かったです。今度は高得点をねらいたいです。食事会も凄く美味しかったです。ビールが飲めなかったのが残念でした。次やる時はノンアルコールビールが飲みたいです。(笑)

P.S: ライフに入社して1年がたちました。皆様これからも宜しくお願い致します。





# ヘルパー派遣業務・在宅介護支援 ヘルプーステーション 繭結

札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒 1F TEL 011-623-2505 FAX 011-644-0088

## ☆ 繭結の回覧 ☆

管理者 笠井 衛二

ヘルプーステーション繭結では、毎月、各ヘルパーさんにお願ひというか、色々とした注意事項の回覧文をお渡ししています。今回はそれをご披露しようと思います。

最初は今年の3月の発行です。ある職員が前の月に行われたヘルパー研修の内容をまとめて、出席できなかったヘルパーさんたちにお伝えしよう、と思い立ったのがきっかけでした。

翌月の4月から同じ職員の手により、シリーズ化が図られました。そのためかより積極的な文章が顔をだし、当月号はヘルパーの基本的な行動理念について触れています。“臨機応変とはなにか”から草稿され、“利用者の要望をすべて聞くのが良いヘルパーではない”と展開し、利用者の意思決定の尊重を辿りながら、利用者とヘルパーの個性の違いに、難しくてもいいとヘルパーさんの立場にエールを送る内容となっています。

5月号は相手の立場、から始まります。利用者の車での移動中に「ヘルパーさん、寒くないですか？」という問いかけの真意を、どう読むのかと提起しています。私などの脳天気なヘルパーは「大丈夫です、ご心配ありがとうございます」と答えますが、この筆者は鋭く利用者の気配を察知し、こう理解します。利用者はご自分が寒いからこの話題をぶつけてきたのではないかと。“これは深読みしなさい”という例ではなく、“ヘルパーは常に利用者の立場で考えるという思いやりや気遣いが大事です”の典型的な事例として書かれています。また後半では、通じ合うというコミュニケーションについて、感情移入と共感的理解について、具体的に説明し、ヘルパーの立場の理解で文章を終えています。

先月号は☆いまさら聞けない介護の基本☆とサブタイトルをつけ、介護の基本が再確認の意味で記載されています。最初は介護保険と自立支援でのサービス内容の違いを対比的に明記し、次にヘルパーの心構えについて触れていますが、これはヘルパーの立ち位置というより、サービスの基本と

いうか、人との触れ合いで大事な視点であり、福祉にたずさわる人の根源の問題である基本事項だと思われま。最後には、挨拶などの大切な当たり前がいかにか大事であるか、具体的には翌月からみていきましょう、と本文を締め括っていました。

この一連の、注意事項的な回覧文を読んで感じることは、基本姿勢の大切さです。ヘルパーさんは介護職として一定程度の訓練、修学を重ねて資格を取得しています。なかには介護福祉士等の国家資格を持っていたり、また目指している方も多く、頼もしい限りとヘルパー事業所の管理者の立場にある私は思っています。

ですが、この回覧文はもうひとつのことを教えてくださいました。それは、立派な資格や免状も日々の鍛錬なくして輝かない、ということです。そして訪問時間は厳守するとか、外套は脱いで玄関に入るとか、身だしなみに留意するとか、他の利用者やヘルパーの話はしない等の最低限ルールは、ヘルパー云々ではなく、普通の、当たり前の社会性が大事ですね、と示唆しています。

さて、今月の回覧文、具体的な事例について、どんな提起がなされるか楽しみにしたいですね。

読みたい人は、いつでもどうぞ。繭結の事務局に綴っています。

### お知らせ

ヘルプーステーション繭結(ゆい)では、ホームヘルパー(1級または2級ヘルパー資格保持者)を募集しております。まずはお話だけでも聞いてみませんか?ご応募お待ちしております。

**[勤務先]**西・東・北・厚別・白石の各区※勤務場所への直行直帰可

**[資格]**経験不問、学生さんもOK、ブランクがある方・未経験・勉強中の方も歓迎

**[時間]**7:00~24:00の間で2~6時間位、週1~6日の勤務

**[給与]**時給850~1,200円以上、交通費規定

**[応募]**電話の上、写真付履歴書ご持参下さい。

★勤務先・時間・日数等、ご希望に合わせます。

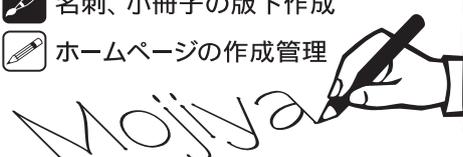
**[連絡先]**Tel:011-623-2505(佐々木・笠井)  
札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32



# 共働事業所 もじや

〒064-0808  
札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74 市民活動プラザ 星園 104  
TEL (011)596-6583 FAX(011)596-6584  
E-mail:mojiya@npolife.net

- 印刷・編集・制作・出版・企画
- テープ起こし
- 名刺、小冊子の版下作成
- ホームページの作成管理



## 『はじめまして』

都築 美恵

この度、7月1日に入社しました都築です。

会社勤めは約10年ぶりなので不安ですが、私が勤めることで子供たちが家に着くと今までにない協力ぶりに心が温まります。



会社が終わると急いで公園を横切りますが、夏らしい景色を見ると、この夏とこれからくる秋に思いがよぎります。

子育てをはじめから1年の早さ、1日の早さに驚くことがふえました。その早さは子供たちの成長にも言えることなのですが、その成長についていけるよう私も体力を維持しながら、張切りすぎて無理なことにならないように頑張りたいと思います。

今までの経験をあてにせず新しい気持ちで、ご迷惑をかけないよう、頑張りますので、これからよろしくお願ひいたします。

## 『新しい仲間が入りました』

岩崎 佑司

毎日うだるような暑さが続いていますますがみなさんお元気でしょうか？

巷ではビアガーデンなるものが今年も開催され、お盆がちかくなるにつれ、花火大会だの、なんとか祭りだのいろいろ開催されていますが、性格的に人混みがかかなり苦手うえに、暑さに弱いので、とてもじゃないけど、海だ〜とか、バーベキューするぞ〜という気には全くなれません。かといって、お墓参りに行こうとしても、ご先祖様のお墓はどこですか？っていう始末(すいません…今度父親にでも聞いてみようと思います)という感じです。

そろそろ本題にでも入らないとお叱りを受けそうなので(誰に?)本題に入りますが、7月1日にもじや

に新しい仲間が増えました。名前は都築美恵さんといい、もじやでの席は僕の隣で、パソコンはMacを操っています。第一印象としては、とても固い人なのかなぁと勝手に思っていました(すいません)、ちょっとした世間話をしていくうちに、話題が豊富で、明るくて面白い人だなぁというのが今現在の印象です。

もじやの個性の強い仲間に入れて、自分のキャラが出てくるのはいつになることやらと、これまた勝手に思っています。新しい仲間都築さんを皆さんよろしくお願ひします。

## 『仕事について』

中橋 敬人

仕事中はいつものことなのですが、かみのけやTシャツは頭から水をかけたようにぬれています。

今は、小さいようかんの箱を組み立てています。一番気をつけているのは、ようかんにあせやかみのけを落とさないようにしています。ぼくはあせっかきで、手も汗をすごくかくので、手はすぐにあらうようにしています。

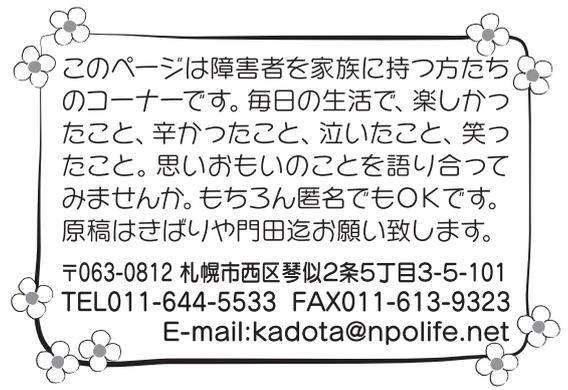
さいきんすこしづつだけ、アドボケのだんさいの仕事もやりはじめました。きかいのセッティングとかはこうじょうちょうにおねがいをしています。ちょっとずれてきている時があるけれど、すこしずつ覚えて、むずかしいカットやちゃんときれるようにがんばります。



## 『データおこし』

今野 美志

こわけをしているMP3でデータおこしをやっているが、何回も聞きとれなくて●にしている。自分なりにかながえて、うっているだけ、さいだいで、長いデータおこしはざいたくのデータおこしでした。たまに、聞きながらうっているけど、たまにまちがえる事もあり。



## ★ ちょっと昔と今...を思う... ★

富良野市 高田 保子

今年(2013年)の2月に、深夜のドキュメント番組で「孤高の出張カウンセラー 自閉症の子どもたちと500日」を見て、臨床心理士の奥田健次さんを初めて知りました。ただ、自閉症と言うタイトルに惹かれて見たのですが、自閉症の息子の子育て時代に会いたかったとつくづく思いました。

奥田さんは個人で軽井沢に拠点をもち、自閉症の子どものカウンセリングや講演会を、日本全国はもとより、海外でもオファーがあれば行く方です。大雑把に説明すると、早期療育の段階で「今この子がしていることは〇〇だから、こんな風に△△をアプローチ。そこで□□な反応が芽生える」の様な分かりやすさがありました。

親は、わが子にこんな簡単なことが伝わらず分かってもらえない。子どもは、分からないからパニックになる。親は、パニックを避けて子どもの言いなりになってしまうというケースが多いのですが、奥田さんのアプローチはちがいます。子どもの思い通りにさせずに最低限のルールを設けてステップを踏むので、当然子どもはパニックを起こして騒いでしまいます。その時点でパニックになる子どもの姿に耐えられない親は、残念ながら支援を受け入れられず止めてしまいます。

奥田さんの療育支援と比べて、通常の療育を受

けたお子さんも、変化し進歩するので同じじゃないかとは思いますが、私は個人的に、親の不安な気持ちの「どうして分かってくれないの？」の部分が「あ、そうか！」に変わるのを少し早く感じることが出来るのではないかと思いました。そう思ったのは私だけかもしれませんが…。

私は、2歳半で息子が自閉症だと分かり、療育センターへ通っていた頃を思い出しました。どの指導員さんも、子どもへの指導は良くやってくれましたが、どの方もその指導の意味までは教えてくれませんでした。

療育のやり方は、いろいろなTV番組を見ても同じ様なもので、「小規模で一人より楽しいことあるよ」「人と関ることの始まり・必要最低限のルール」をアプローチしています。それは、生きていく上で集団は避けられなく、とても必要な経験と知識です。今なら分かりますが、子育て時代は、いつも不安・不振・不満が心を占め、子育てと家事に一杯いっぱい心に余裕がありませんでした。療育に通っていても「こんなことが何になるの?」「もっと大切なことがあると思う」と、いつも否定的に思っていましたし、どう質問して良いかも分からない状態でした。

20年も前のことなので、パソコンも家庭に普及する前で、まだワープロ(PCとは別にワードだけの機械)が売っていた時代です。もちろん我が家にはPCなどはありません。TV番組や新聞などから情報を得て本を買っていました。今は、スマートフォンで検索できるし、分かりやすい本や漫画も沢山出版されていて簡単に手に入れられる時代ですが、20年前はすごいアナログでした。

療育に通い始めて半年たった頃、相談員からの方から「良くなってきているから、もう少し頑張っ

### 名前 奥田健次(おくだけんじ)

兵庫県出身。桜花学園大学人文学部准教授。専門行動療法士、学校心理士、臨床心理士。発達にさまざまな子とその家族への指導のために、全国各地からの支援要請に応じている心理臨床家。日本国内だけでなく、世界各国から招かれる国際的セラピスト。行動上のあらゆる問題を解決に導く技術と、指導プログラムの緻密さについて、国内外の関係者から絶賛されている。1999年、内山記念賞(日本行動療法学会)を受賞。2003年、日本教育実践学会研究奨励賞受賞。2008年、第4回日本行動分析学会賞(論文賞)を受賞し、行動科学系の二大会で初のダブル受賞者となった。



張っている時にそんなことを言われたので、「頑張る方も教えず頑張れって何？ これ以上、何をどう頑張ればいいのか？」とキレた事がありました。その頃に奥田さんの様な人に会えていたら、少しは違っていたのかも知れない…。でも、その時は指導員も相談員も我が家の全員も一生懸命で必死でした。療育センター側も、あまり深く指導の意図を親へ伝えないのは、力が入り過ぎて子どもへストレスがかかるから、と今なら考えられます。年の功というヤツで、理解するには時間がかかると云うことで、自分の子育て中には理解不能な部分でした。

今だから分かることは、親がパニックを恐れて子どものしたいことを優先することや、障害があることを否定して育てていくことは、幼い頃は良くても、思春期頃から大変になってきます。子どものからだは親より大きくなり、パニックを起こすと、幼児が暴れるのとは格段の差でかなり大変です。



親だけではなく、他者に危害を負わせてしまう事もあるので社会的参加が難しくなり、家以外での楽しめる場所が減っていき、引きこもりという残念なことになることもあります。

私の周りにも引きこもりが何人かいます。保護者と話していると「子どもが暴れたら怖い。だから家族は静かにしている」「あれこれと他人に言われるのが辛い」「外で暴れたら謝ってばかりで疲れるから家にいてくれる方が楽」と言っていました。

も、思春期頃から大変になってきます。子どものからだは親より大きくなり、パニックを起こすと、幼児が暴れるのとは格段の差でかなり大変です。

子どもの「分かって欲しい」という気持ちと、親や周りの人の「何で暴れているの？」という気持ち、こじれきってしまっているのが痛いほど分かり、聞いていて辛くなります。親や周囲の人々は子ども自身をまだ丸ごと受け止めきれていないのかもしれない。

出来る・出来ない・障害を含め、全部ひっくるめて一人の人間です。だから「都合が悪いことは置いて、障害者だから仕方ない…」「障害者なんだから行政でやってくれるのが当たり前」「回りが理解してくれないから…」では上手くいかないと思います。

障害があろうが無かろうが子育ては同じはずです。自分の出来ることは、他人をあてにせずに行うところまで頑張ればいいし、やれないところは、サポートしてもらうことで出来るようになればいいし、障害があっても出来ないことばかりじゃないと思います。

人に助けてもらうことや、手のかかり方が、多いか少ないかの違いです。それは、どんな時もどんな場所でも変わらないはずで。

障害が重くても軽くても、悩みは減らないし、健常者と呼ばれる人々も悩みは尽きないです。

偉そうに言っているけれど、私はやれている？ 自分の子ども達に教えている？ 自信を持って言えるだろうか。たぶん50%やれていればいい方と考えてしまいました。

今回は、TVを見て刺激され「今はいいなあ」と思うくせに、ダラダラした生活を止められない自分に反省だけ一応してみます。

## なぜ隠そうとするの？

ひだまり 児島 義秀

- ・ 障害があるっていけないことですか？
- ・ 家族の中に障害者がいるのって恥ずかしいですか？
- ・ なぜ隠そうとするのですか？

いろんな障害があるけど、例えばこういう事です。精神障害っていう名前が良くないのか、明らかに精神障害でしょう？ という人が知的障害の手帳を持ってたり(知的な障害者ってか?)、重複障害(2つ以上の障害を持つ)の方の一部の親御さんは「うちの子は重複してません。」とか「知らなかった。」と言います。が、いやいや、毎日会ってるのに見てわからんか？ 明らかに違うだろう。対応、しぐさ、視線、言葉、歩き方、etc…わからんわけねえだろ！

認めたくないのもわからないわけではありませぬ。しかし、それによって適切な治療や援助を受けられていないんですよ。

苦しいのは当事者本人です。順番から行けば親の方が先に逝きます。一緒に連れていくわけにもいかないでしょう？ 残されたお子さんのことを考えてください。親の見栄やエゴでわが子を苦しめたり悩ませたりしてることに気付いてください。もしかしたら子供のほうは気付いていても言えないのかもしれないよ！

自分の子供をもっと見てあげてください。会話してあげてください。



# ライフで共に働く 障害者メンバー募集中♪

ライフでは、色々な職種の事業を展開しています。一度働いてみて自分に合わないな—と思ったら、ライフの中で別の職種を探すことも出来ます。お気軽に、自分にピッタリのお仕事探しをしませんか？

## 就労継続支援事業B型 たねや



### ♪♪ たねやと一緒に販売をしてみませんか!?

たねやでは店舗販売・出張販売・清掃委託業務・軽作業を行っています。

店舗では「体に優しい」食品や、手づくり雑貨を厳選して販売。現在は販売に力を入れていることもあり、接客に興味がある人は特に大歓迎です。その他、清掃や軽作業に興味がある方も是非下記までご連絡ください。

一緒に自分に合った仕事を探しませんか!?



## ☀ 就労継続支援事業B型 ひだまり

コン・ブリオひだまりでは、店内で提供するお料理とテイクアウトや従業員用のお弁当を作り、笑顔で接客し、体に優しい商品を売っております。現在、メンバー13人とスタッフ3名で一生懸命楽しく働いております。

料理が出来なくてもスタートはみんな一緒です！みんなが優しく教えてくれます★

一緒に働いてみませんか?!!  
ご応募お待ちしております!!

問い合わせ:011-615-4131  
担当 佐藤



私たちと一緒に  
楽しく働きましょう!!



※毎日元気に出勤できる方優遇  
お問い合わせ:011-613-0611  
担当 村上・奥井



## 就労継続支援事業B型 こころや



あなたのこころに!!  
私のこころに!!  
「こころや」です。



『こころや』では下請け作業やお米の卸し・販売の仕事を通じて、個性豊かな仲間たちが、時には面白く、時には真剣に仕事に取り組んでいます。

一緒に働いてみたいという方はもちろん、見学だけでも構いません。ご連絡お待ちしております。

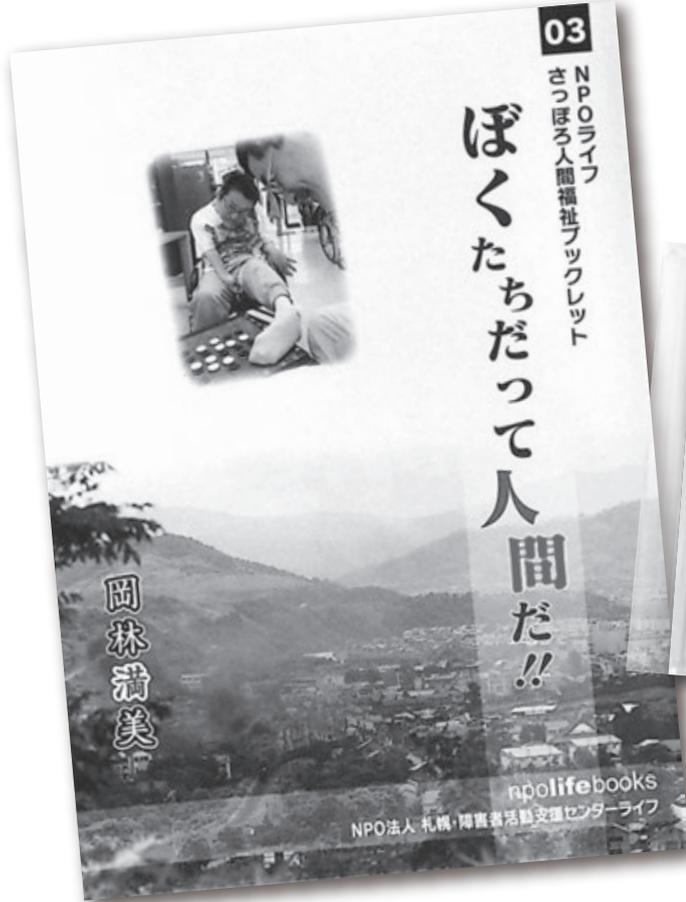
問い合わせ:011-614-1871  
担当 小黒・岡田



# ライフの事業所 ころろや在籍の岡林満美(おかばやし みつよし)さん執筆 NPOライフブック 待望の 第3段

**絶賛発売中**

障害者として生まれた満美。  
話すことも、自由に動かすことも出来ない手足で  
自殺まで考えた彼が今、  
『生きていて幸せだ。』と言えるのは…  
岡林満美、渾身の一冊、**ぼくたちだって人間だ!!**



**CD 岡林満美  
僕たちの小さい命  
同時発売!!**

NPO ライフブックレット No.3  
2012年8月31日発行  
『ぼくたちだって人間だ!!』  
定価 800円(送料別)  
A5判 134ページ

2012年8月31日発売  
『僕たちの小さい命』  
定価 300円(送料別)  
※ 同時購入 1,000円(送料別)



私たちは「福祉」という言葉を好まない。それは、「福祉施策」を必要とする人たちを見下したときに使われることが多いように感じられるから…  
本来『「人間福祉」であるべき「福祉」が、今、「制度としての福祉」になりさがっている』という社会福祉法人この実会の加藤孝さんの言葉に触発され、『さっぼろ人間福祉ブックレット』を発行する。

NPO ライフブックレット No.2 2008年8月31日発行  
『収容施設はもういらなくともうまで』  
A5判 72p 定価 840円(送料別)

## 社会的排除からインクルージョンへ 経済の民主主義と公平な分配を求めて



危機の時代こそ  
新しい考えを試す好機!  
社会的事業所促進法を!

日本発  
共生・共働の  
社会的企業  
定価 2,100円(送料別)  
編者 NPO法人共同連  
2012年9月10日発行  
195×135 240p

## 震災復興は雇用の創出から いまこそ社会的事業所の出番です!

社会的困難を抱える人たちとの「共働」をめざす、「社会的事業所」制度の法制化は急務であります。  
**社会的事業所とは何か?**  
その理念と実践の取り組みが解りやすく語られています。

NPO ライフブックレット No.2 2011年6月30日発行  
『誰もが働ける社会を』  
A5判 140p 定価 1,000円(送料別)

●ブックレットのお申し込みは ——  
NPO法人 札幌障害者活動支援センターライフ  
札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションモモ 1F  
TEL:011-633-6666 FAX:011-613-9323  
mail:honbu@npolife.net HP:http://npolife.net/





今年もやってきました  
そばめんの季節!!!

伝統の味わいを心ゆくまで  
お楽しみ下さい。

「細さ」  
「舌ざわり」  
「こし」

島原手延そうめん

長崎島原名産

蔵田本格手延べ

ご注文承ります!!!



①ひやむぎ・麦作  
化粧箱・1500g詰 (150g×10束)  
包装外寸=297×240×39mm  
標準小売価格 1個 ~~3,675円~~  
**2,550円**



②そうめん・夏ごごろ  
化粧箱・1800g詰 (50g×36束)  
包装外寸=318×220×42mm  
標準小売価格 1個 ~~4,200円~~  
**2,850円**



③そうめん・細糸の舞  
木箱・2000g詰 (50g×40束)  
包装外寸=335×210×47mm  
標準小売価格 1個 ~~5,250円~~  
**3,550円**

ひやむぎ



製造元  
島原手延素麺協同組合

発売元  
NPO法人 札幌障害者活動支援センターライフ  
共働サービス たねや  
〒063-0804  
札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1階  
TEL 613-0611 FAX 644-0088

島原の手延そうめんは、全国の生産量の約三割を占め、現在では、全国のデパートで夏の売れ筋商品として、発売されております。  
私共の商品は、三六〇年に及ぶ島原の手づくり技術の粋をつくしたものでございます。  
食すれば口の中で舞うがごとく、のど元を流れ、舌ざわり、こし、のどの通り、どれをとりにしても、ご満足頂けるものと存じます。  
又、味付け、調理法とも工夫次第で色々なおいしさが発見できます。  
暑い夏、島原の手延そうめんを食べて、すっきりさわやかなひと時をお過ごし下さい。  
長い伝統と独特の技術で製造された島原手延そうめんは、ご家庭で、また、ご贈答品としては最適と存じます。

《おいしいゆで方》

そうめん

多めの沸騰したお湯にめんをバラバラと入れ、軽くかきまぜます。  
ゆで時間は2分程が標準です。  
お好みのゆで加減を確かめてザルに上げてよく水洗いして下さい。尚、ゆで上がり後はなるべく早くお召し上がり下さい。

ひやむぎ

多めの沸騰したお湯にめんをバラバラと入れ、軽くかきまぜます。  
ゆで時間は4分程が標準です。火を止め、3分程むらします。  
お好みのゆで加減を確かめてザルに上げてよく水洗いして下さい。尚、ゆで上がり後はなるべく早くお召し上がり下さい。

## 商品注文書

No.

## ※取り扱い事業所

NPO法人 札幌障害者活動支援センターライフ

## 共働サービス たねや

〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1階  
TEL 011-613-0611 FAX 011-644-0088  
taneya@npolife.net

■商品番号は裏面を参照して、お申し込み下さい。

■住所・氏名の難しい漢字には、フリガナをお願いいたします。

■郵便番号・電話番号（市外局番含む）は、必ず記入して下さい。

FAX(011)644-0088 入金後の発送となります

お支払い方法（番号を○で囲んでください）

1. 現金（代引はお取り扱いしておりません）
2. 銀行振込／北洋銀行 琴似中央支店（普）口座番号：4616684  
特定非営利活動法人 札幌・障害者活動支援センターライフ  
共働サービス たねや 理事長 我妻 武  
(振込手数料はお客様負担となりますのでご了承下さい)

品名	値段	個数	金額	備考
① ひやむぎ・麦作	2,550円	個	円	
② 夏ごころ	2,850円	個	円	
③ 細糸の舞	3,550円	個	円	
	合計	個	円	総合計金額
	送料		円	円

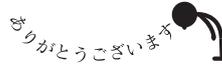
※送料は、市内・道内は5個まで1件につき500円、道外は1000円負担になりますのでご了承ください。  
6個以上は5個毎に200円の追加料金がかかります。（離島・沖縄は実費送料必要です）

※全て消費税込みの金額となっております。

申 込 者	住所	〒		
	フリガナ	-----		
	名前			
	電話		FAX	
お 届 け 先 ①	住所	〒		
	フリガナ	-----		
	名前			
	電話		商品番号	
お 届 け 先 ②	住所	〒		
	フリガナ	-----		
	名前			
	電話		商品番号	

## 🌸 ご協力ありがとうございます 🌸

<b>アドボケ購読料</b>	佐藤 進 様	熊谷 智義 様	鈴木 一郎 様	本間 美恵子 様	
<b>寄付金</b>	佐藤 均 様	石黒 建一 様	石澤 利巳 様	三田 明外 様	小貫 國子 様
	佐藤 進 様	織本 英子 様	高妻 政行 様		
<b>共働農園基金</b>	山本 哲生 様				
<b>賛同会費</b>	藤本 和男 様				
<b>維持会費</b>	児島 義道 様				



## ～ライフ共働農園基金にご協力のお願い～



いつもライフの活動に、ご賛同、ご協力をいただきありがとうございます。

この度、ライフでは石狩市に農園を借り、農作物の収穫を目指して、農作業に本格的に参入することとなりました。

これまで、ご協力いただいている農家さんのお手伝いなどはありましたが、土地をお借りしての自前の農園は初めてとなります。自然相手の大変な仕事ですが、農家の方々の教えもいただきながら、収穫を目指して頑張ろうと思っています。

これまで、ライフでは“共同住居の実現”をテーマに、基金やカンパをお願いし、お陰さまで2012年6月に、共同住居(まちかど荘)を実現することができました。

そこで今回も、ライフでの新事業(農作業)の成功に向け、ぜひ皆様のお力添えををいただきたく「ライフ共働農園基金」を設立させていただくこととなりました。農園で使用するための道具などを購入するためのサポートとして、ご支援、ご協力をお願いいたします。

振込にあたっては、郵便振替でお願いいたします。通信欄には、「ライフ共働農園基金」とお書きください。どうぞよろしくをお願いいたします。

### 私のオススメ

#### 阿智 太郎 著 「僕の血を吸わないで」

きばりや 門田 輝美

主人公は、能天気でお人よし、明るさだけが取り柄のさえない高校3年生、森写歩朗(しんじゃぶろう)。

ある夜ジルという少女が窓から飛び込んできた。ジルが森写歩朗に突然キスを…!?と思いきや、ぶつかった拍子に出た鼻血を吸っていた。実は彼女は吸血鬼だったのだ。「吸血鬼ハンターに追われ、重傷を負ったのでかくまってほしい」という彼女に「僕の血を吸わないで」を条件に同居を始めた。森写歩朗の父親は、さえない息子に婚約者ができたと勝手に思い込み大喜び。森写歩朗の家にジルがいることを突き止めた吸血鬼ハンターたちが次々とやってくるのだが、だれもかれもがどこか間が抜けている。

周囲を巻き込んだドタバタ騒ぎを繰り返しつつ、2人はどうにか吸血鬼ハンターに立ち向かうのだが…。果たして2人の運命は?

地下鉄通勤が始まった頃、何十年も小説を読まなかった私に「小説初心者でも読みやすいから」と息子が薦めてくれた一冊です。ストーリーはこってこでのラブコメディ。阿智太郎独自の笑いが何ともおかしくて思わず大笑い。

全5巻読み終わって、他の阿智シリーズにもはまりましたが、どの作品も外れはありません。小説デビューにはうってつけのとても楽しい一冊です。



出版社 電撃文庫  
定価 578円

### 編集後記

北海道の夏は催しが目白押しで、あれこれやっている、あつという間に8月になっている。今年の夏は、全国的に暑い、北海道でも7月は記録的な暑さとなった。ビールが旨いのはいいが、今年から始まった農作業をしているメンバーは大変だろう。まだまだ十分な設備もない中で悪戦苦闘しながらの作業である。しかし、日焼けした顔と自信に満ちている表情はうらやましくもある。きっと自然の中で仕事をすることで何かを得たのかもしれない。PCとスマホを眺めながら、ブツブツ言っている私よりはよっぽど健康的である。そんな私の楽しみは、彼女ら彼らに感謝しつつ、収穫された物を頂くことで、元気になることだ。(タケ)

### アドボケイト 葉月 (第153号)

2013年8月10日発行 (毎月10日発行) HSK通巻第497号

1973年1月13日第3種郵便物認可

発行人/北海道障害者団体定期刊行物協会

細川 久美子

〒063-0868 札幌市西区八軒8条東5丁目4-18

編集人/NPO法人札幌障害者活動支援センターライフ

理事長 我妻 武

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションモモ1F

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

E-mail honbu@npolife.net

ホームページ <http://npolife.net/>

郵便振替口座 02710-4-63485

定価 100円